

武漢事務所週刊ニュース (2017. 8. 12-2017. 8. 18)

2017年8月16日

武漢の電子商務取引額は5000億元超え

政府の関連部門はネット市場を協同管理

2016年、武漢市の電子商務取引額は5193億元に達して、同期比26.37%成長した。うちネット通販における小売りの売り上げは1056億元に達して、同期比34.11%を成長した。成長する売り上げとともに、消費者からの電子商務取引に対する苦情も8044件まで上昇し、去年同期比96.34%に昇った。

そのため、電子商務取引における監督管理を強化するだけ、各管理部門の連携を図り、武漢市は電子商務連合会を組織した。

同連合会は武漢市招商局、ネット情報弁公室、発展改革委員会、公安局、商務局、品質監察局、食品薬品管理局、郵政管理局、通信監理局の9つの部門により結成された。

8月17日の会議では「武漢ネット市場監督管理部門連合会議規則」を発表し、今後9つの関連部門はこの規則に基づいて仕事を展開する予定という。

2017年8月17日

2017年1月から7月まで、武漢の「青空」は13日増加

環境保護局の統計データによると、今年1月から7月まで、武漢の青空がはっきり見える大気品質が優れた日は去年同期比13日増加した。

武漢市環境保護局が昨日発表した最新の大気汚染状況の統計データによると、7月の武漢の大気が良質な日数は28日であり、一ヶ月間の90%に達した。とくに6月21-7月24日の34日間は、連続して大気品質が良好レベルを維持し、大気が汚染された日は一日もなかった。

武漢市環境保護局によると、今年1-7月、武漢市の16箇所の行政エリアのうち、黄陂区、武漢化学工業九区、江夏区、東湖ハイテク開発区の大気汚染が悪化し、一方、東湖風景区、洪山区、東西湖区、蔡甸区、青山区の大気汚染が軽減された。

今年武漢の大気状況が良好である日数は150日達して、年間の70%を超えた。



青空の下の東湖の様子